



公文書「一元管理」進む

岩内町 事務効率化へ手応え

【岩内】町で、公文書を分かりやすく分類し「一元管理する」ファイルリングシステム」の導入が進んでいる。最終確認を経て9月以降でほぼ完了し、残る9部署も9月から順次導入

テストで、キャビネットから課題の書類を採り出す町職員12日、岩内町役場

担当者が30秒以内に探すというもの。職員は見出しを参考に目的の資料を見つけ出し、18回のテストで30秒を越えたのは1件だった。同課の佐藤博昭課長は「書類の私物化意識を変えられた」と手応えを語る。

他部署の職員でも容易に探せるよう、フォルダの見出しや並び方に改良を加えることが今後の課題。11月までに全庁で導入を目指しており、佐藤課長は「最終的には文書リストを公開し住民と情報共有を図りたい」と話している。

(中萩良太)